



# 飯田風越高校での 模擬授業を体験して

(2013.12.26)

2014.1.25

法政大学国際文化学部  
高柳俊男



## 本日の話の＜目次＞

- 飯田風越高校への私の関心
- 飯田風越高校と法政大学
- 法政大学における高大連携
- 12月26日当日の模擬授業内容
- 12月26日当日の受講生徒たちの反応
- 今後の展開に向けて

# 飯田風越高校への私の関心①

- 旧制飯田高等女学校時代の風船爆弾製造
- 岸田衿子・今日子姉妹のこと
- 内山煙火工場の爆発事故(1959年)
- 上郷キャンパスへの移転(1976年)
- 男女共学化(1978年)
- 国際教養科の設置(2002年)



# 飯田風越高校への私の関心②



- 2013年10月、飯田風越高校同窓会東京支部同窓生の皆さんによる美術・工芸・趣味の作品展示会を参観
- 職場から徒歩5分の「アルカディア市ヶ谷」(私学会館)にて
- 飯田・下伊那・上伊那関連の集まりの大半がこの「アルカディア市ヶ谷」にて開催

# 飯田風越高校と法政大学①

- 岸田衿子・今日子姉妹の父は、「飯田の町に寄す」で知られる劇作家の岸田國士＝北軽井沢の法政大学村の住人
- 野上豊一郎・弥生子夫妻に勧められて、岸田はここに山荘を持つことに
- ここは法政大学をはじめ、大学関係者や文化人が多く住み、谷川徹三の一家もそこに
- 後に、子供どうしとして交友のあった岸田衿子と谷川俊太郎が結婚することに




群馬県立土屋文明記念文学館が主催した「岸田衿子展」の図録から

下線の二人は当時、法政大学の教授で、のち戦後の1940～60年代に総長(学長)に

# 飯田風越高校と法政大学②

～学部資料室の「飯田・下伊那文庫」から





## 法政大学における高大連携

- cf. 飯田市の小中連携
- 恒常的な関係のある高校: 付属校、指定校、特殊な関係をもつ高校
- 毎年全国多数の高校から模擬授業の依頼  
謝礼は大学持ちで、主催高校の負担なし  
学校独自主催の場合と、業者が介在する場合
- 模擬授業の大学側にとっての意義  
大学・学部の宣伝  
高校や高校生の実際を知る機会  
それを大学での教育へフィードバック



## 12月26日当日の模擬授業内容①

- 全体のテーマ「日本人と韓国語一隣国のことばをどう学んできたか」
- 「朝鮮は日本だろう」の文脈は？
- 「未完の可能性」にも言及

巧みな朝鮮語も駆使して朝鮮の民芸を研究して朝鮮の土となった浅川巧／日本人も朝鮮語を習って平等な関係を築こうと提唱した正道社『朝鮮時論』(大山時雄)の試みなど

## 12月26日当日の模擬授業内容②

- 模擬授業の後半3分の1＝韓国・朝鮮と飯伊とのかかわり(朝鮮セイタ、肉のスズキヤなど)
- この地に朝鮮半島出身者が暮らしたことで生まれた庶民同士の交流の痕跡 生活文化・食文化として残存



朝鮮セイタ(高森町「時の駅」)



## 12月26日当日の受講生徒たちの反応

- 松尾企画課長のご報告参照
- 「オモテの歴史だけではなく、カッコよくない歴史も学べてよかった」(飯田ケーブルテレビから)  
負の歴史も含めた過去をどう現在・未来につなげるかは、本学部SJ国内研修で学ぶべき1つのポイント

cf. 満蒙開拓団平和記念館、平岡ダム



満蒙開拓団平和記念館(阿智村)



中国人慰霊碑(天龍村)



連合軍俘虜の鎮魂碑(天龍村)

